



なのみ通信

令和3年度 筑前町立東小田小学校 学校通信 3月3日 第19号

こんにちは。

3月を迎え、気温がぐんと上がり嬉しくなりました。

しかし、新型コロナは町内でも依然、猛威をふるっており、学校関係者等の感染も続いています。卒業式を中学校は11日(金)、小学校は18日(金)に控え緊張が絶えません。最近食器割れが増えるなど、子ども達にもストレスが蓄積してきてないかなと気になります。見守り励ましていきたいと思ひます。

◆ 待ってたよ「なのみ」 ◆

先日、本校PTA広報誌「なのみ」第1号が発行されました。色合いも優しく、春らしさを感じます。

内容は各学年の経過報告と、メインには新1年生と卒業生が誌面を分け合う珍しいケースになりました。コロナ禍で思うように活動できなかったけれど「どの学年もしっかりした内容に」という思いで苦心して第1号を発行くださった広報委員会(羽根絵梨委員長)の皆様にご心から感謝申し上げます。



ドキドキのそろばん試験

3年生が算数の時間にそろばんを学習。試験日、先生に見守られ、順番を待つ子どもどきどきしていました。



◆ 通学路 その三十 ◆

心の声が聞こえる

「むきあうのは スマホではなく ともだちと」

福岡県PTA連合会主催「いじめ防止標語コンテスト」にて本校の三年生南里唯花さんの冒頭の作品が優秀賞に入賞しました。素敵な作品ですね。私には「スマホの魅力について引き込まれるけれど、友との友情は、関わり合いふれ合ってつむいでいくかけがえのないものだよ」と感じさせます。

本校の応募作品には、考えさせられるものがたくさんありました。いくつかご紹介いたします。

「刃物で人を傷つけていませんか。鋭く上がった言葉の刃物で」

「やめようよ、と言えずにたまるあの子の涙」

「体の傷は治るけど、心の傷は治らない」

「いじめの本質を伝えようとしています。」

『大丈夫』 誰かを救う魔法の言葉」

「いいことある。誰かにやさしくしてごらん」

「勇気を出して助けてみよう』どうしたの』」

「気になることに「向き合おう」と語っています。そして、

「友達がいじめられてたら助ける」

決意の言葉もあります。

様々な標語に出会いました。それらは、「本当はできないかもしれない」でも「そうありたい」と願う子ども達の切なる心の声でもあるのかなと思っています。